

キューバへのコーチ派遣について

キューバオリンピック委員会からの要請を受け、史上初日本から野球技術指導者を正式派遣した（2011年3月1日～21日）。派遣されたのは、山中正竹氏（法政大、バルセロナ五輪監督）、応武篤良氏（新日鐵、ソウル五輪捕手、元新日鐵君津監督、前早稲田大監督）、井上真二氏（読売巨人軍元打撃コーチ）、柴田 稔氏（日本野球連盟事務局次長）の4名。ハバナ市とサンチアゴ市の2会場で開催し、それぞれ40時間のカリキュラムで日本の投球理論、打撃理論、戦術、トレーニング法などを指導した。受講生は代表チームコーチ陣を含む137名で歴代の有名代表選手も数多く受講し、過去WBC2大会で日本に敗れたキューバが次回大会には世界一を奪回しようとする必死さがうかがわれた。

<主な受講生>

オマール リナーレス（代表チーム打撃コーチ、元中日ドラゴンズ）

ホセ エロセギ（五輪、WBC代表チーム投手コーチ）

ブラウディリオ ビネン（70年代～80年代代表投手）

フリオ ロメロ（70年代～80年代代表投手）

ルイス カサノバ（元東北福祉大コーチ、80年代代表選手）

ラサロ バジェ（元三菱岡崎、シダックス、シドニー五輪）

ラサロ バルガス（バルセロナ五輪、アトランタ五輪）

ファン パディージャ（アトランタ五輪）

ペドロ ルイス ラソ（五輪4大会、WBC2大会出場、歴代1位257勝）

オマール ルイス（アトランタ五輪）

オスマニ ウルティア（アテネ五輪、第1回WBC、2000年代6度の首位打者、シーズン最高打率.468記録保持者）



フィデル カストロの言葉

「勝利は全てにおいて努力の積み重ねの中にある」



講習会の様子①



講習会の様子② チェ ゲバラも見ています



伝説の投手ビネン氏と山中氏